

2025年10月27日

各 位

会社名株式会社KVK

代表者名 代表取締役社長 末松 正幸

(コード番号 6484)

兼情報システム部長 北川 喜一

(TEL 0574-55-0005)

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年5月12日に公表いたしました、2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2025年4月1日~2025年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 中間純利益 | 1株当たり 中間純利益 |
|---------------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 15,000 | 百万円 1,300 | 百万円 1,350 | 百万円 900 | 円 銭 112.40 |
| 実績値(B) | 15,114 | 1,378 | 1,733 | 1,190 | 148.55 |
| 増 減 額 (B-A) | 114 | 78 | 383 | 290 | |
| 増 減 率 (%) | 0.8 | 6.0 | 28.4 | 32.2 | |
| (ご参考)前期実績 2025年3月期第2四半期(中間期) | 14,224 | 1,183 | 1,405 | 944 | 118.30 |

2. 差異の理由

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績につきましては、売上高および営業利益は、得意先への受注活動に注力した結果、各商流にて当社の主力製品であるサーモスタット式水栓およびシングルレバー式水栓の受注増加もあり、概ね直近の業績予想通りとなりました。経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、新工場棟建設に伴う土地および建物の取得に関する補助金の交付もあり、予想を上回る結果となりました。

2026年3月期通期の業績予想につきましては、新設住宅着工戸数が前年同月比で4月から8月まで5ヶ月連続で減少し、住宅市場は厳しい環境にあります。また、主要な原材料である銅の国内相対取引の建値が依然として高止まりしていることに加え、物価の上昇による仕入コストの増加および為替の急激な変動により不透明な状況で推移するものと予想されます。以上のことから、2025年5月12日発表の業績予想に変更はありません。